

# 岡山県真庭市寄江原・吉地区での モデル事業(地域管理構想)の取組状況

# 岡山県真庭市におけるモデル事業の取組について

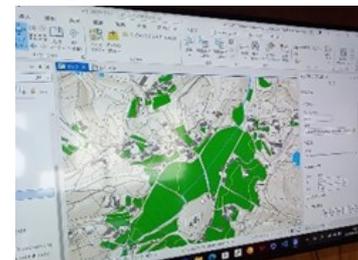
OR5年度より、岡山県真庭市寄江原・吉地区において地域管理構想のモデル事業の取組を開始。GISマップの作成を開始し、吉地区で9月にこどもデジタルマップワークショップを実施。

■対象地域：岡山県真庭市寄江原地区・吉地区

■地区概要：

- ・位置：鳥取県と県境を接する真庭市の南部に位置し、中国自動車道、岡山道の結節点で岡山市からは車で1時間、JR姫新線が走る。
- ・人口等：寄江原地区は人口395名（高齢化率約38%）の中間地域、吉地区は148名（高齢化率約50%）の山間地域。いずれも旧落合町に属し、2地区は近接している。
- ・地形：旧落合町は瀬戸内海に注ぐ旭川と支流の合流地点で、木材の水運で栄えた。寄江原地区は、備中川沿いの水田地帯と背後の里山、吉地区は、石灰岩で構成される吉備高原の北限に位置する。

■検討体制：真庭市落合振興局、農事組合法人寄江原、吉縁起村協議会



GISによるデジタルマップ



ワークショップのようす

## 【モデル事業の取組の経過】

- ・R5.5月～ 地籍図データ、農地台帳、中山間台帳、森林簿などをもとにGISマップを作成。吉地区の住民と意見交換を行い、地域で必要な情報（水路、空き家、担い手）を把握。
- ・R5.9月 地元の小中高生10名、岡山県立大学、岡山大学等の学生5名と地元学を実施。地域の詳細なデータを収集し、GISを完成させる実践型ワークショップを開催。  
\*吉地区での成果を元に、寄江原地区でも同様の取組を実施予定。
- ・R5.9月以降 上記で得られたデジタルマップを基にして、地元住民と地域の課題と将来像を考える話し合いを開始、地域管理構想の策定を目指す。